

旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必／選	コース／フィールド
国語	現代文演習	2	3	選	特進コース
科目の目標	作品鑑賞を通じて人生を深く見つめることができる態度を養うとともに、問題演習を通じて、入試現代文に対応できる力を育成する。				
教科書	独自教材		副教材等	独自教材	

1. 学習の到達目標

作品鑑賞を通じて人生を深く見つめることができる態度を養うとともに、問題演習を通じて、入試現代文に対応できる力を育成する。

また、グループワーク等を通じて、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)、Y(思考・判断・表現)、Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
文学の扉 山月記	8	4 5	作品の構造を理解するとともに主人公の心情を把握する。 設定の意味について考え、文学における象徴的表現の効果について考える。	○	○	○
問題演習	4	5	入試現代文に対応できる力を育成する。	○	○	○
昭和後期の小説 ナイン	8	6 7	現代を代表する作家の作品を読み、登場人物の造形を通して作者の人間に対する洞察を読み取る。	○	○	○
問題演習	4	7	入試現代文に対応できる力を育成する。	○	○	○
問題演習	4	8	入試現代文に対応できる力を育成する。	○	○	○
昭和中期の小説 赤い繭	8	9	戦中・戦後という時代を背景とした、人間存在の根本を問う問題意識を作品から読み取り、行き方について思索を深める。	○	○	○
問題演習	6	10	入試現代文に対応できる力を育成する。	○	○	○
問題演習	14	11 12	入試現代文に対応できる力を育成する。	○	○	○

学習内容	時 数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
問題演習	4	1	入試現代文に対応できる力を育成する。	○	○	○